

FOR USE IN JAPAN



取扱説明書

KAMA BONE

カマボーン

T5-135-TN / T5-135-IV

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品はキャンプ用テントとして作られています。安全にご使用いただくためにも本取扱説明書を必ずお読みになり、内容を理解してからご使用ください。また、取扱説明書は大切に保管してください。

目次

はじめに／目次	P01
警告事項／注意事項	P02 - P03
火気器具使用時の注意事項	P04 - P05
セット内容	P06
製品仕様／各部の名称	P07
設営方法	P08 - P21
テントのたたみ方	P22
キャノピーを連結する方法	P23
ブラインドシートの使い方	P24
収納・保管方法	P24
快適にご使用いただくためのQ&A	P25 - P28



死亡または重傷などを負う可能性が想定される
内容を示しています。

- テントの中で火気を使用する場合は、使用上の注意事項を必ず守り使用してください。火災や一酸化炭素中毒などにより死に至る危険があります。
- 定期的に換気をしてください。最悪の場合、酸欠により死に至る危険があります。
- 台風や暴風雨などの悪天候時や、それらが予想される場合は速やかにキャンプを中止してください。
- 風の影響を受けやすい場所や、落石や雪崩、増水のおそれがある場所に設営しないでください。
- 積雪する場所に設営しないでください。雪の重さでテント・タープが崩壊する可能性があります。
- テント内にお子様を残さないでください。天候によりテント内は高温になり、熱中症などのおそれがあります。
- 製品に異常が見られた場合はただちに使用を中止してください。



物的損害の発生または傷害を負う可能性がある
内容を示しています。

- 本製品は常設用ではありません。常設した場合、紫外線などの影響で短期間のうちに劣化し破損します。
- 強風時は設営しないでください。
怪我や破損の原因となります。
- 石や枝など製品を破損させるおそれのあるものを
取り除いてから設営してください。
- 小さいお子様に組立・撤収をさせないでください。
怪我や破損のおそれがあります。
- 安全のため、組立・撤収の際は手袋を着用してください。
- 組立や撤収、使用時に無理な力を加えないでください。
破損の原因となります。
- ポールを伸ばす際は、各節を確実に差し込んでください。
しっかり差し込まずに設営すると破損につながります。
- 突風に備え、ペグやロープでしっかりと固定してご使用ください。

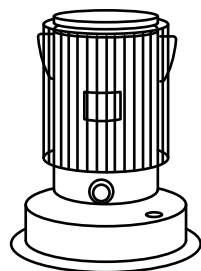


テント内で火気器具を使用する場合は、必ずお読みください。

テント内での火気器具の使用は大変危険です。記載の注意事項を必ず守り、ご自身で安全を確保したうえでご使用ください。

■暖房器具を使用する場合

- ・使用可能器具：対流形石油ストーブのみ
- ※薪、炭、ペレット燃料を使用する器具・加圧式石油ストーブは使用しないでください。
- ※ストーブの着火時は一酸化炭素が発生しやすいため、全部のベンチレーションを開放した状態にしてください。
- ・設置場所：壁・天井から100cm以上離してください。



対流形



加圧式

■調理器具を使用する場合

- ・使用可能器具：OD缶、CB缶を使用する調理器具
- ※薪、炭、ペレット燃料を使用する器具、灯油やガソリンなどの可燃性・引火性液体を使用した器具は使用しないでください。
- ・設置場所：壁・天井から100cm以上離してください。

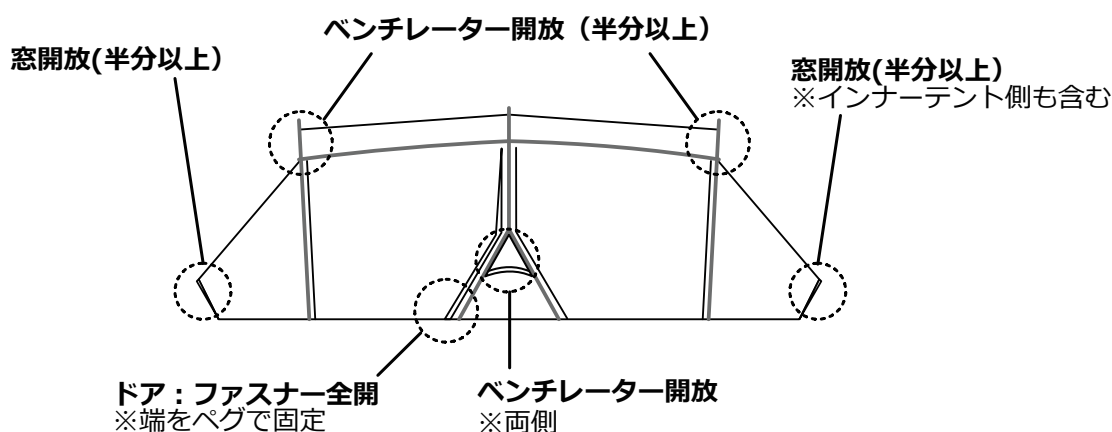
(火災のリスク)

- ・火気器具を使用される場合は、ご使用器具の取扱説明書をよく読み正しく安全にご使用ください。
- ・燃料式ランタン（ガソリン、アルコール、ガス）は使用しないでください。
- ・万が一に備え、使用中はテントのそばを離れず、消火器あるいは水を張ったバケツなどをご準備ください。

- ・テントが大きく揺れたり、倒壊の恐れがある強風時は火気器具を使用しないでください。
- ・火気器具の周りに引火するおそれのある物を絶対に置かないでください。
- ・換気のために開いたドアは風の影響で思わぬ方向へなびく可能性があるため、火気器具と接触しないよう、ペグや留め具で固定してください。

(一酸化炭素中毒リスク)

- ・空気の循環を促すため、必要十分な通気を確保してください。（下図参照）



※インナーテントのドアは開いた状態にして窓への通気を確保してください。

- ・一酸化炭素チェッカーを必ずご使用ください。また、一酸化炭素チェッカーの数値が0であっても、その数値を過信せず、煙の匂いや目の痛みなどの異常を感じた際には、換気を行ってください。
- ・火気器具使用中は1時間ごとに換気を行ってください。
- ・火気器具を点けたまま就寝しないでください。完全に鎮火したことを確認してからご就寝ください。

(熱および結露の影響)

- ・火気器具の使用による水蒸気、調理による油跳ねや湯気の影響で、通常使用よりも結露が促進されたりテント生地劣化が早まる可能性があります。

(その他)

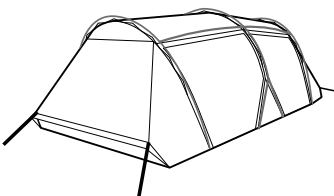
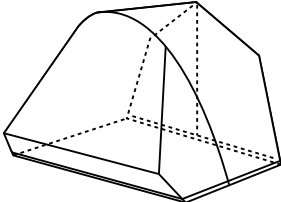
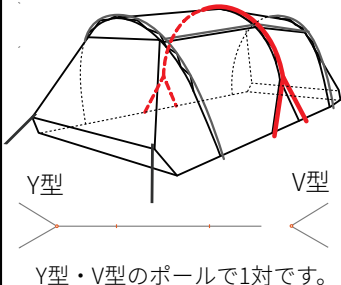
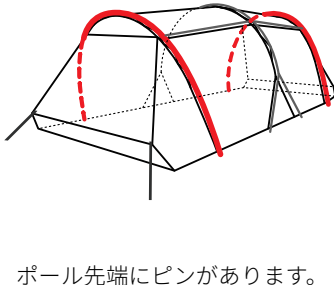
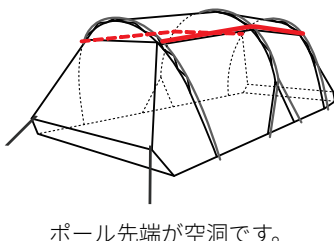
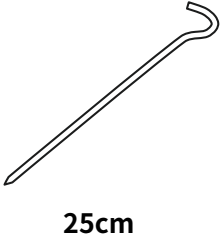
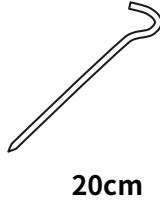
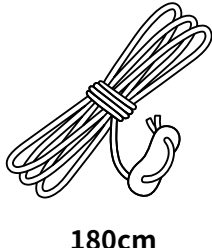
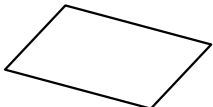
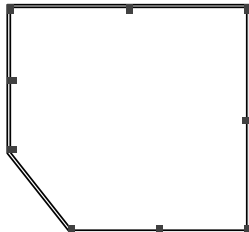
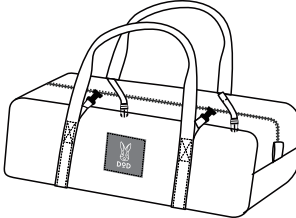
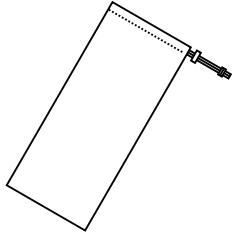
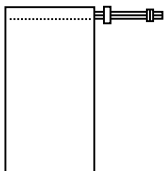
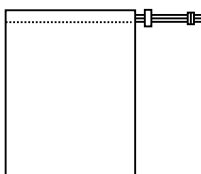
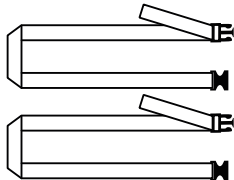
- ・緊急時に備え、ドアのファスナーを全開にしたまま使用し、避難経路を確保してください。テントへの出入りの妨げになる場所に荷物や火気器具を置かないでください。
- ・焚き火や火気器具等の使用が禁じられている場所では使用しないでください。

■免責事項

- ・火気器具使用において発生した、事故、怪我、火傷、火災等に対する一切の責任は負いかねます。

セット内容

数量の確認を必ず行ってください。

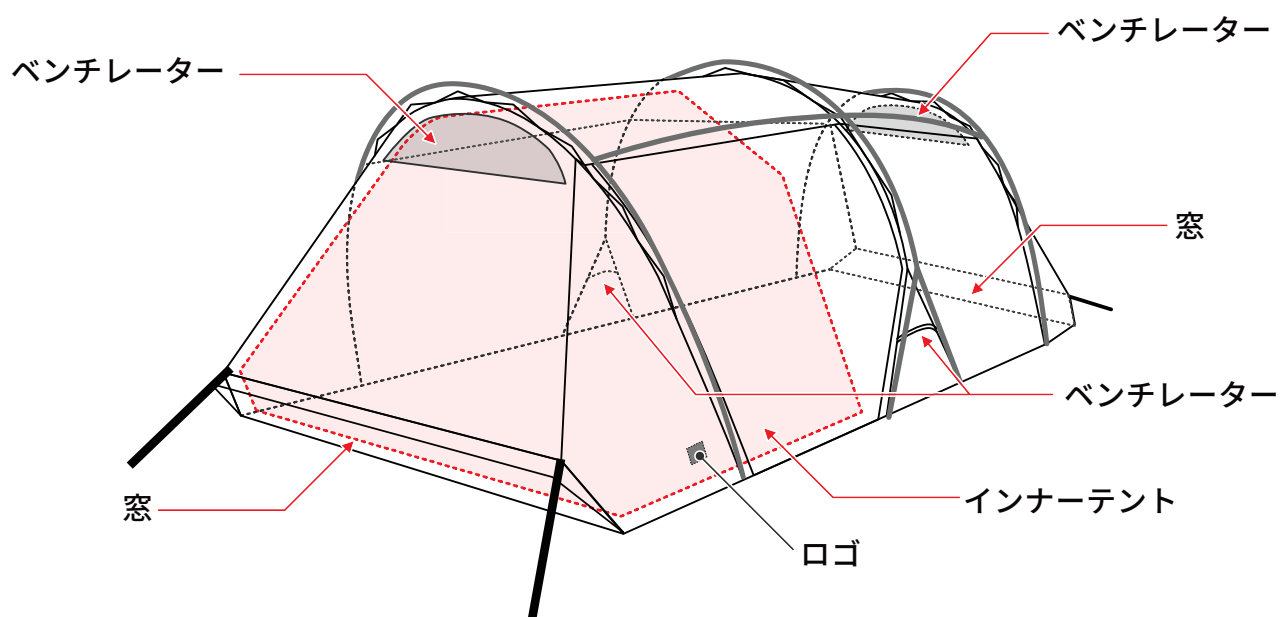
① アウターテント	② インナーテント	③ センターポール × 1	④ サイドポール × 2
			
⑤ リッジポール × 2	⑥ ペグ (長) × 10	⑦ ペグ (短) × 14	⑧ ロープ × 6
			
⑨ リペアシート × 1	⑩ ブラインドシート × 1	⑪ キャリーバッグ	⑫ ポール用収納袋
			
⑬ ペグ・ロープ用収納袋	⑭ ブラインドシート用収納袋	⑮ タイベルト × 2	
			

製品仕様

材質 アウターテント生地：ポリエステル
 インナーテント生地：ポリエステル
 フロア生地：ポリエステル
 ポール：アルミ合金
 ペグ：アルミ合金

原産国 ベトナム

各部の名称



設営方法



必ず2人以上で
設営を行って
ください。



すべてのロープを
ペグで固定
してください。



設営・撤収方法は
製品ページ上でも
詳しく見るができます。



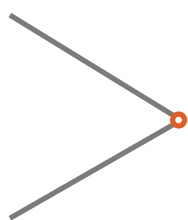
① アウターテントを広げます。



※ロゴのある側にインナーテント
を固定することになります。

② センターポール（V型とY型）をそれぞれ組み立てます。

※まだこの段階では、Y型とV型ポールをつながないでください。



POINT | ポールの組み立てについて

ポールを組み立てる際は、各節を完全に差し込んでください。不十分は組み立てはポールの破損の原因となります。

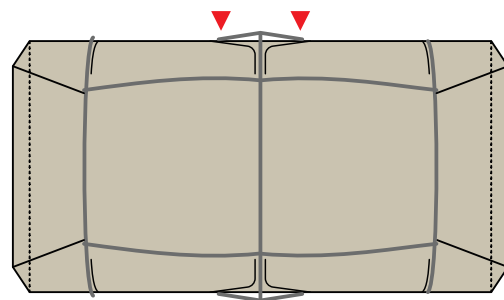
○



×



- ③ Y型ポールの先端にあるピンを、アウターテント中央のグロメット2箇所へ挿入します。



- ④ ポールを挿入したベルトのループにペグを固定します。
ペグ（短）を使用してください。



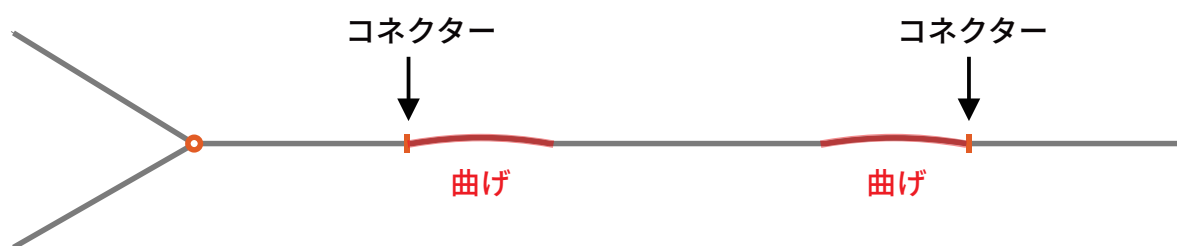
- ⑤ 反対側のグロメット2箇所へV型ポールの先端を挿入し、④で固定したY型ポールの先端を持ちながらゆっくりとカーブさせていきます。



コネクタの隣のポールには曲げ加工が施されています。

Y型ポールをカーブさせ始める前に「曲げの方向」と「カーブさせる方向」とが、ある程度合うようにしてください。

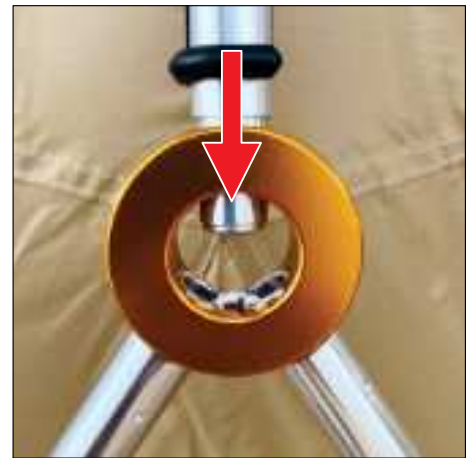
コネクタ



- ⑥ Y型ポールの先端をV型ポールの円形コネクターへ挿入します。
V型ポールを前傾させることで、Y型ポールの先端が穴に入りやすくなります。



円形コネクター



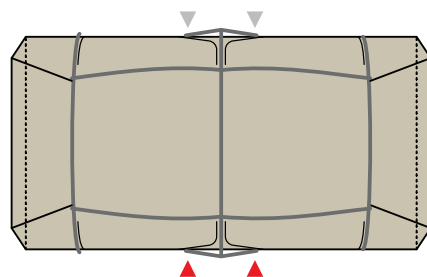
前傾させY型ポールの先端が入りやすくする。



注意

ポールを曲げる際は、ポールに大きな張力がかかります。
ポールから急に手を離したり、無理な力を加えたりしないでください。

- ⑦ V型ポール側のループもペグで固定します。 ※ペグ(短)を使用

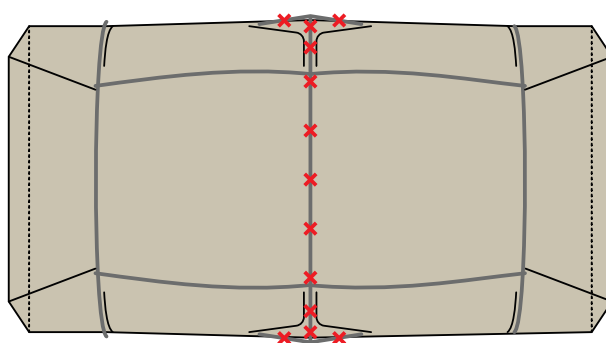


- ⑧ センターポールの固定が完了です。



⑨ アウターテントのフック部分をセンターポールへ固定していきます。

※フック部分はポールへ差し込み捻ることで固定できます。



フックの固定方法



ポールへ差し込む



捻る



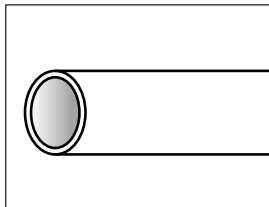
カチッと引っかかる

POINT | テントを吊り下げる時のコツ

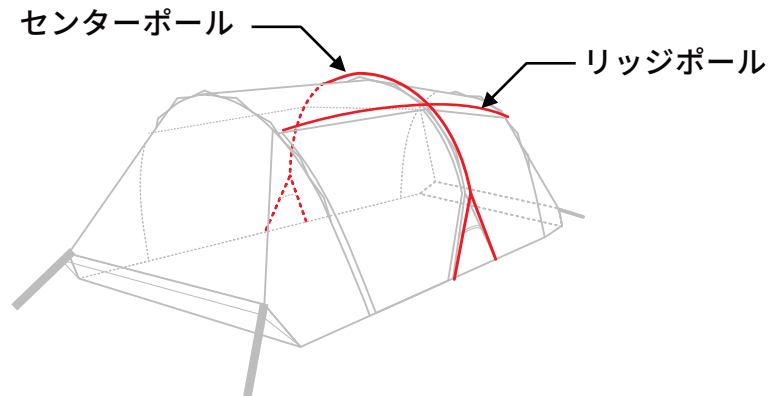
- ・ドアファスナーを開け、テントの中から吊り下げ作業をおこなってください。
- ・高い位置のフックを固定する場合は、一度低めの位置でフックを引っ掛けてから高い方へスライドさせる（カーテンのように）と作業がスムーズです。

⑩ リッジポールをセンターポールへ固定します。

オレンジ色のジョイント（ポールの接合部）がリッジポールの中心です。その中心部分をセンターポールのコネクターへ差し込み、センターポールとリッジポールを固定します。



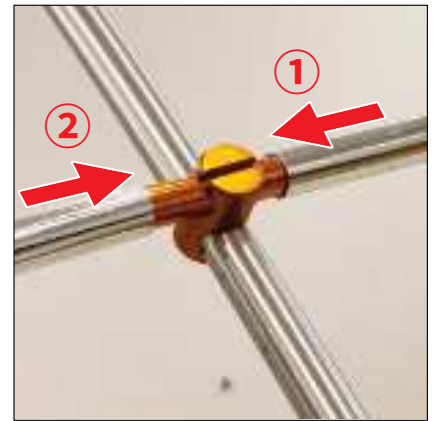
リッジポールの先端
は空洞です。



リッジポールを組み立て、中心ジョイントの位置を確認してください。



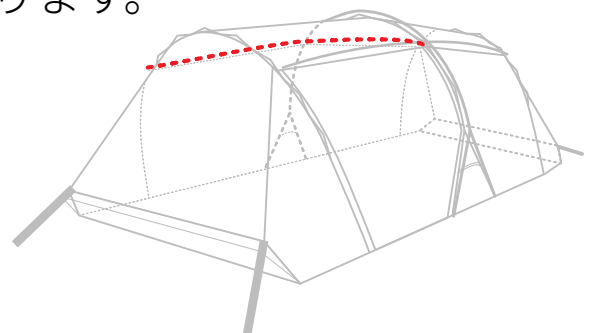
中心ジョイントの固定を一度はずし、ゴム紐部分をセンターポール上のコネクター（割れ目）へ通します。



ジョイントをコネクターへ差し込んだ状態で、リッジポールを再び固定します。

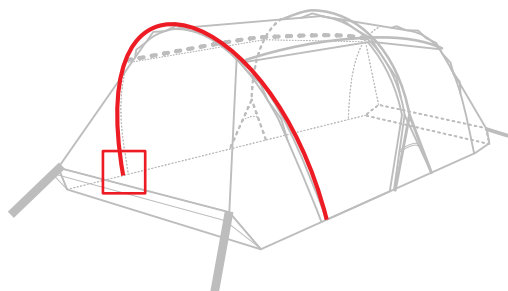
⑪ 反対側のリッジポールもセンターポールへ固定します。

生地が吊られた状態のセンターポールに、2本のリッジポールが固定され浮いている状態となります。



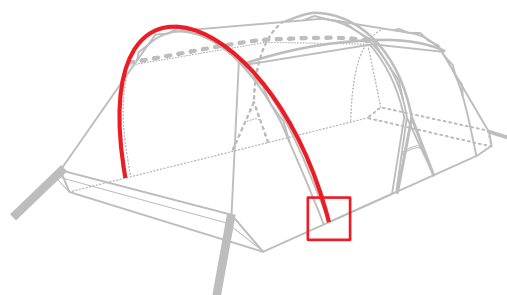
⑫ サイドポールを組み立て、先端のピンをグロメットへ挿入します。

センターポールを固定する時に開けたドアファスナーは、閉じておいてください。

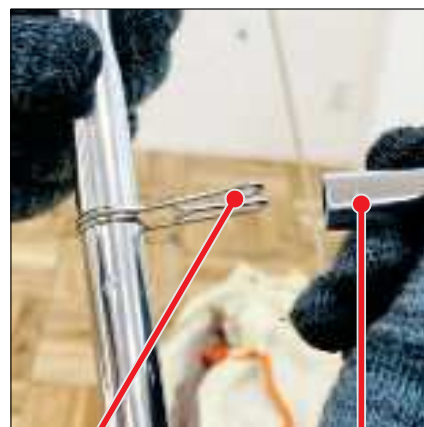
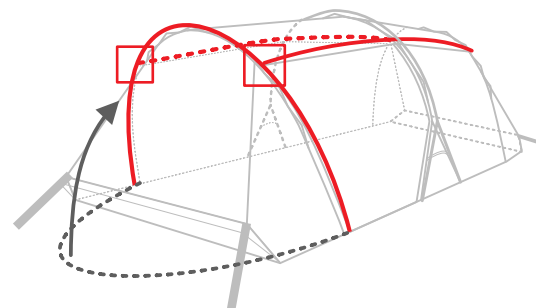


⑬ サイドポールの反対側の先端付近を持ち、ゆっくりとカーブさせていき、グロメットへポールの先端を挿し込みます。

センターポールと同様に曲げ加工の向きと、カーブの向きが合うようにカーブさせてください。



- ⑭ サイドポールとリッジポールを固定します。サイドポールを
起こし、クリップをリッジポールの端へ挿し込みます。

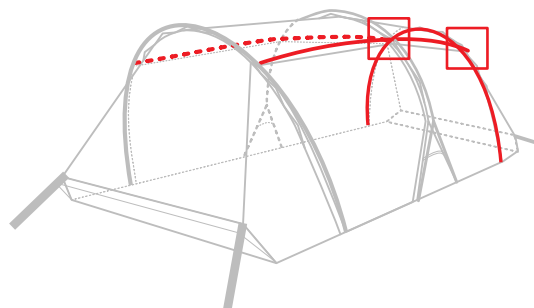


サイドポール上の リッジポールの端
クリップ

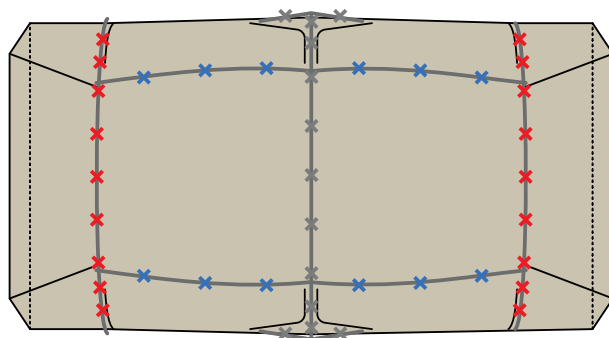
- ⑮ もう一方のクリップも反対側のリッジポールへ挿し込みます。



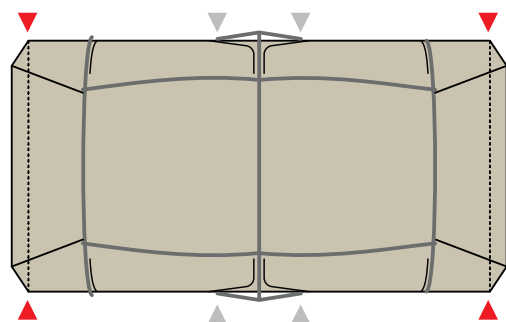
- ①⑥ 反対側のサイドポールも同様に、2箇所でリッジポールと固定します。



- ①⑦ 組み立てられた状態のサイドポールおよびリッジポールに、アウターテント上のフックパーツを引っ掛けていきます。
※先にサイドポールを固定し、次にリッジポールを固定してください。



- ⑱ すべてのフックパーツが固定できたら、アウターテント四隅のループをペグを固定します。 ※ペグ(短)を使用

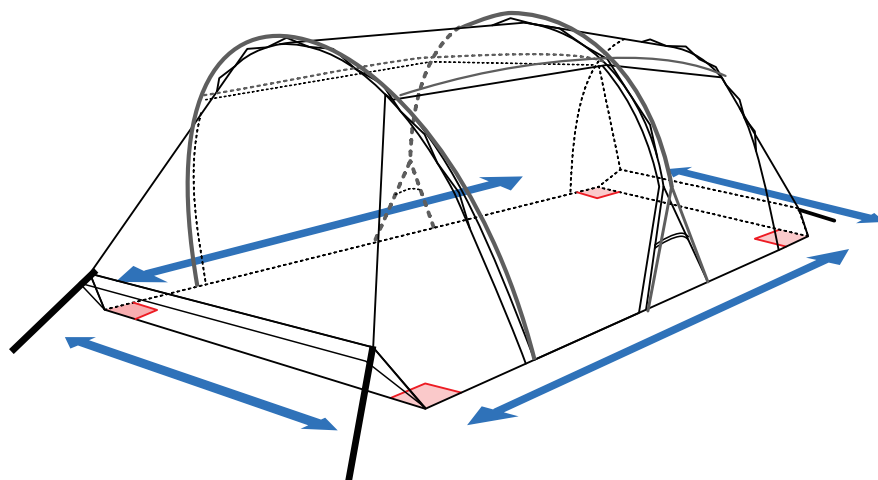


POINT | テントをきれいに張るためのコツ

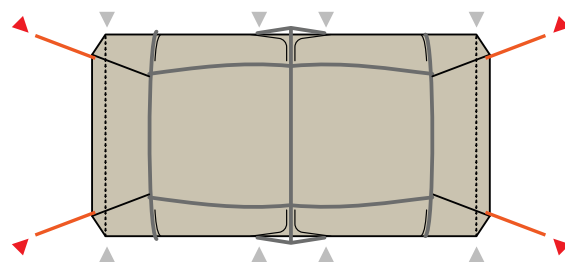
四隅のペグを固定する際に、以下のポイントを意識するようにしてください。

- ・ 四隅の角度が90度になっていること。
- ・ 四隅を結ぶ各辺の生地（地面側）が、緩みなく張っていること。

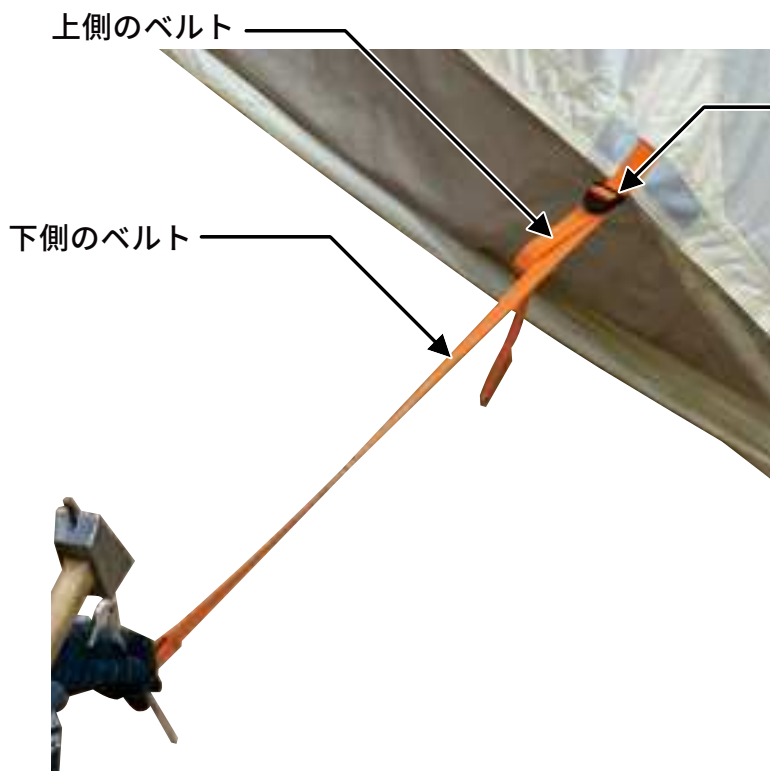
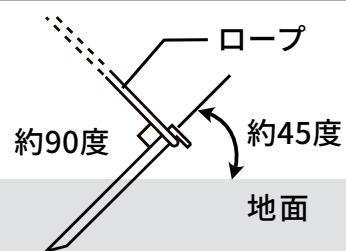
※ドアファスナーはすべて閉めておいてください。



①9 ペグ固定した四隅の上部にあるベルト（4箇所）をペグ固定します。 ※ペグ(長)を使用



POINT | ペグの打ち方

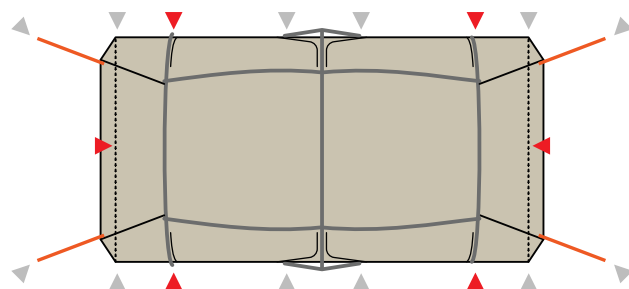


長さ調整パーツ

長さ調整パーツの下側から出ているベルトをペグで固定し、上側のベルトを引っ張りながらテンションを掛けます。

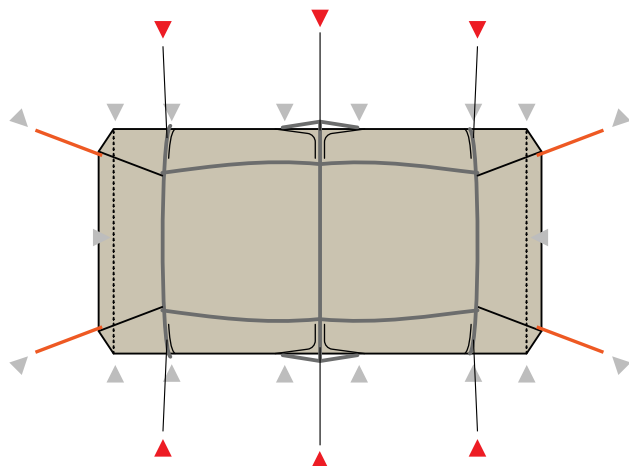
②① アウターテント本体のループをペグで固定します。

※ペグ(短)を使用



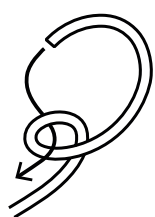
②② アウターテント長辺側のロープをペグで固定します。

※ベルトをポールに一周回してから、ペグ(長)で固定

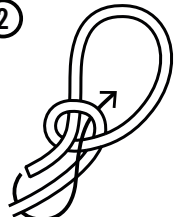


POINT | ロープの結び方 (もやい結び)

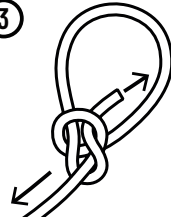
①



②



③



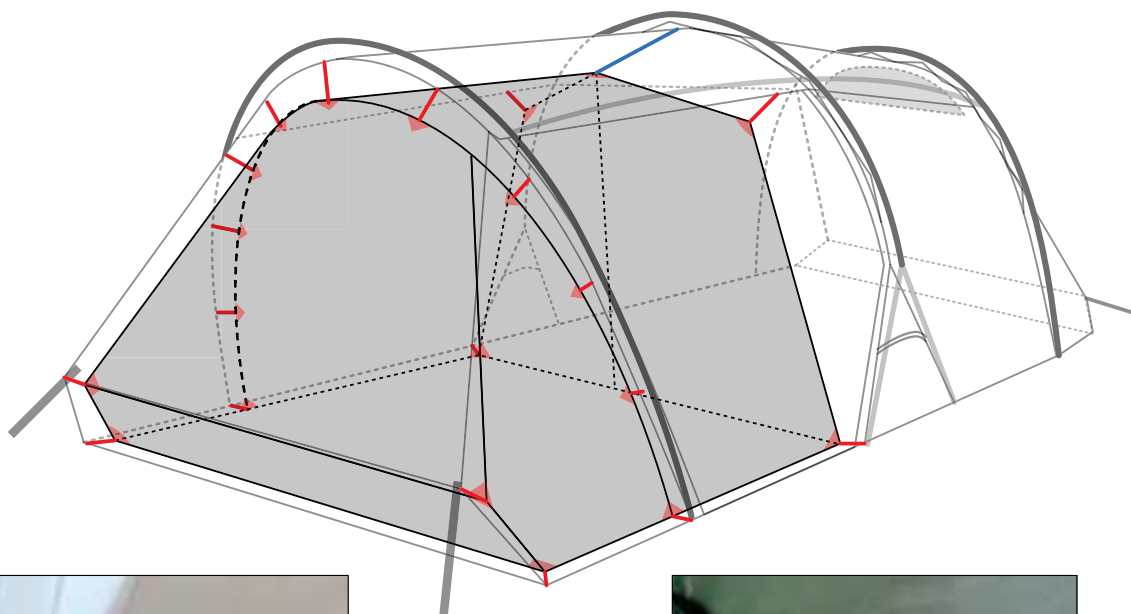
④



②② ロープの固定が終われば、アウターテントは完成です。



②③ 最後にインナーテントをアウターテントに取り付けます。



インナーテントのフックを
アウターテント側のリング
に引っ掛けて固定します。

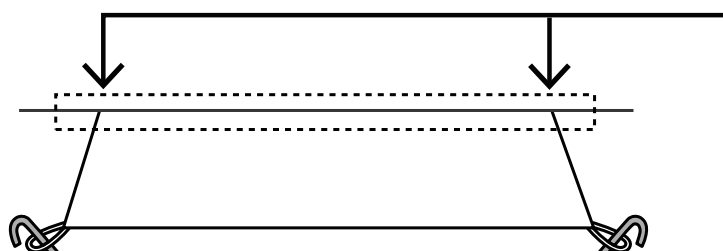


インナーテントの正面上側
のみ、ベルト先端のバックル
で固定してください。



注意

- ・風によるスカートのバタつきが気になる場合などは、必要に応じてスカート部分のループをペグダウンしてください。
- ・スカート部分をペグダウンして本体を支えたり、引っ張ってテントの位置を調整したりしないでください。破損の原因となります。

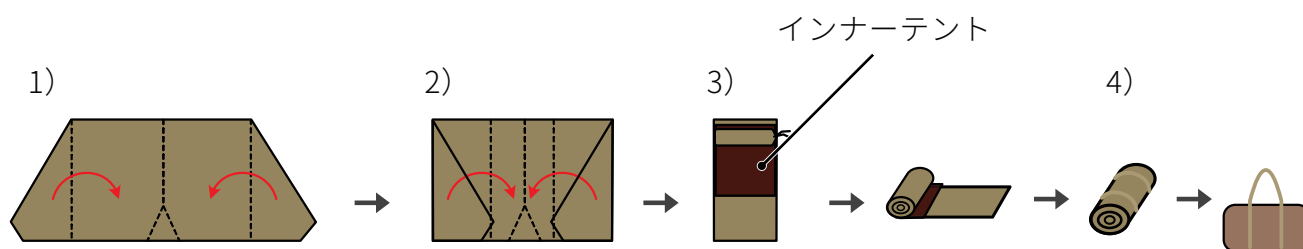
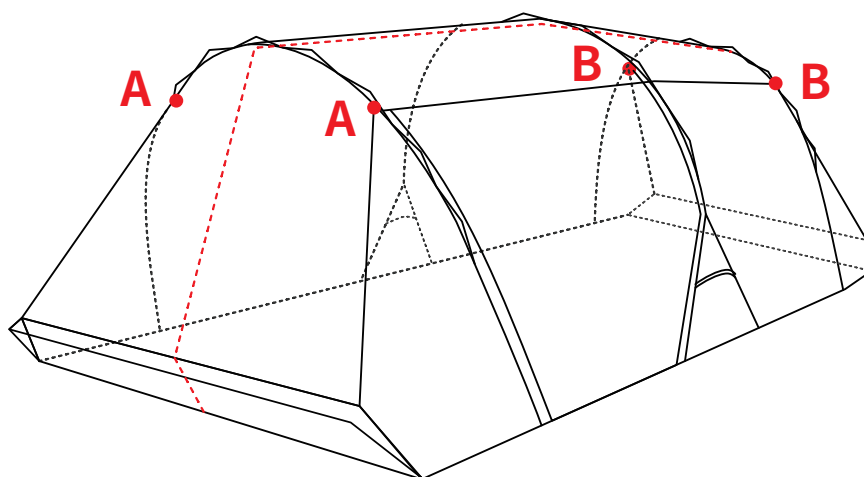


スカートはテント本体を支える強度を備えていません。スカート付け根部分を強く引っ張るとダメージを受けやすいので取り扱いにご注意ください。

※スカート用のペグは付属していません。

テントのたたみ方

設営とは逆の順番で、設営手順①まで撤収を進めてください。



1) テントの中心ラインで半分になるようにテントを寝かせます。

※2名がテントを挟むように立ち、点AとA、点BとBを合わせて持つと半分にしやすくなります。

2) テントの中央に向けて何度か折りたたみ帯状にします。（キャリーバッグ幅に合わせます。）

※インナーテントも同じ幅になるように、あらかじめたたんでおいてください。

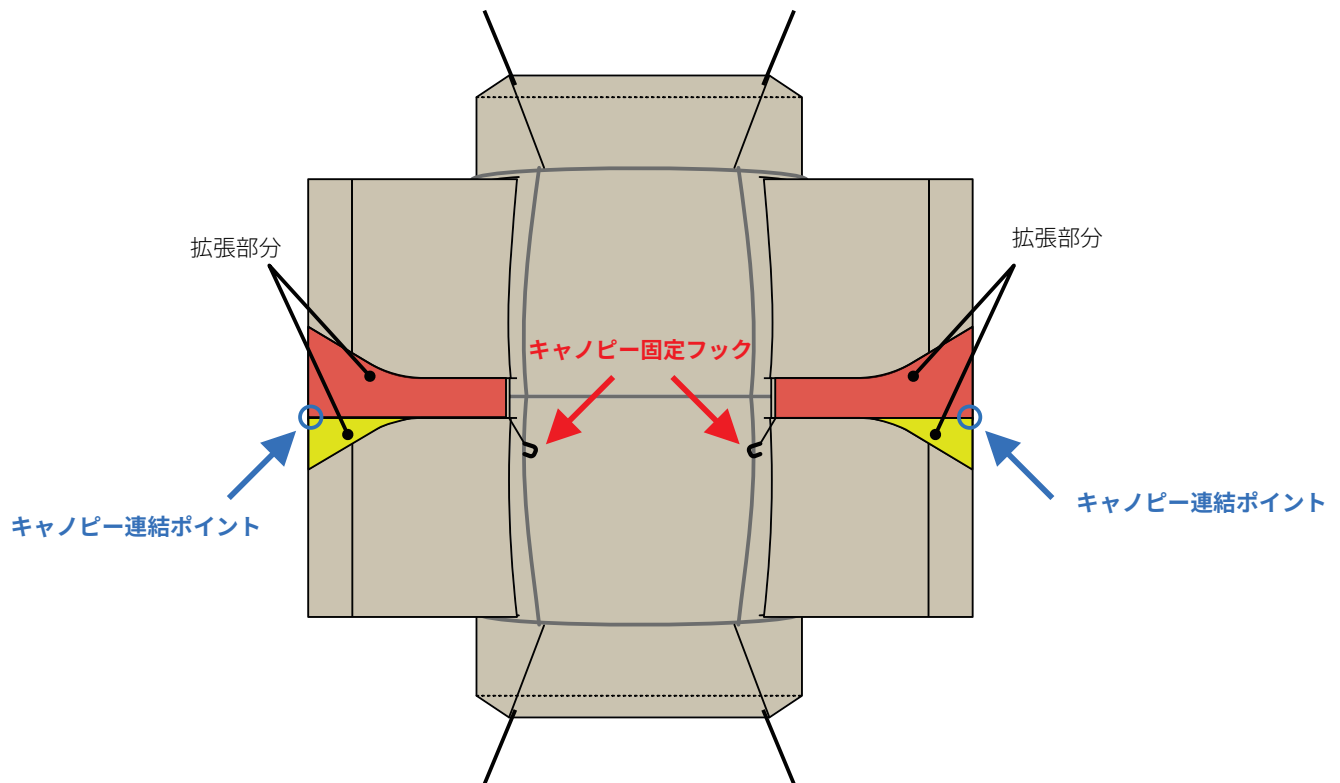
3) インナーテント生地を2)の生地の上に寄せ、ポールを乗せて生地を巻いていきます。

4) タイベルトで固定し、他の付属品と共にキャリーバッグに収納してください。

キャノピーを連結する方法

ドアパネル内に収納されている生地を展開し、展開を連結することで、大型のキャノピーを張り出せます。 ※キャノピー用のポール、ロープ、ペグは別売となります。

テントを上から見た状態



キャノピー用フック



リッジポール用フックパーツの隣にあるループ

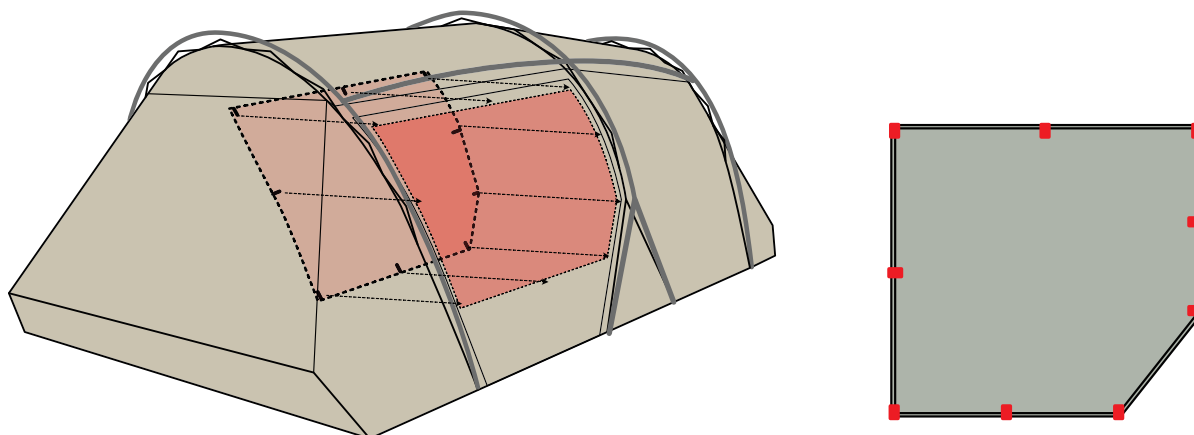
キャノピー連結ポイント



2枚の拡張パネルにあるグロメットを揃えてポールを固定

ブラインドシートの使い方

ドアパネルがメッシュ状態の時、ブラインドシートを使用すると目隠しとなります。
テントの内側から、9ヶ所の面ファスナーを固定するだけの簡単取り付けです。
キャノピーを張り出したままでも、プライベートな空間を保てます。



収納・保管方法

使用後は汚れを落として、完全に乾燥させてください。

濡れたまま保管すると、色移りやカビ、腐食、劣化の原因となります。特に長期間使用せず保管する際は、乾燥後でも湿気がこもる可能性があるため、定期的に広げて風に当てたり、乾燥剤を用いるなどして、なるべく湿気が多くならない状態で保管ください。汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取り、完全に乾燥させてください。※シンナー・ベンジンなどの有機溶剤は、色落ちや変色の原因となるので、使用しないでください。

**高温多湿を避け、直射日光の当たらない
風通しのよい場所に保管してください。**

保管方法を誤ってしまうと、色移りやカビ、腐食、劣化の原因となります。

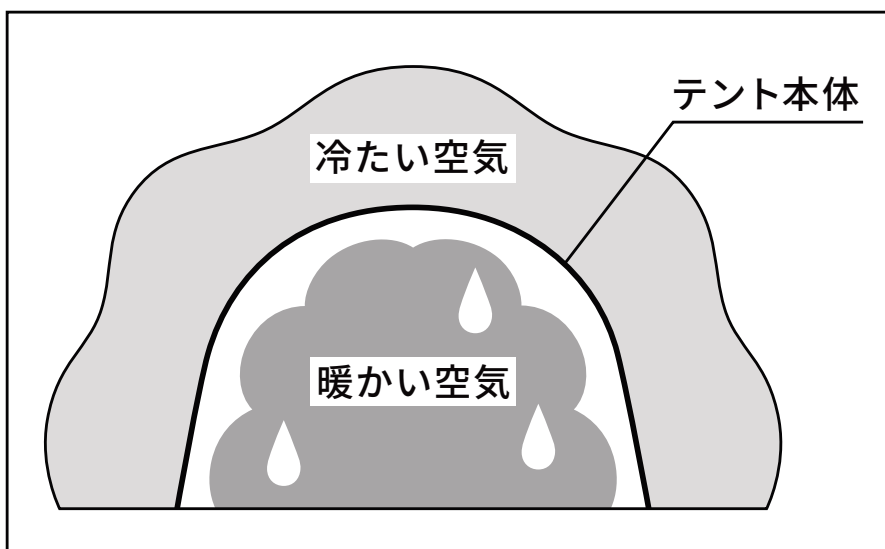
廃棄の際は、各地方団体の指示に従って廃棄してください。

快適にご使用いただくためのQ&A

Q テント内に浸水、雨漏りします。

A 結露が原因の場合がございます。定期的に換気を行ってください。
ベンチレーターがある場合は開けておくことで結露が軽減されます。

防水加工が施されたテントやタープ生地は、外気との温度差が大きくなると、水が垂れてしまうほど結露してしまう場合がございます。



Q テント・タープの縫い目から雨漏りします。

A シームシーリング剤（目止め液）を塗布してください。

テント・タープは防水処理を施しております。しかしながら縫い目やジッパーの合わせ目など、構造上・生産工程上シームシーリングを施せない部分がございます。そういったところは雨量によって浸水する場合もございます。より快適にテントをご使用いただくため、シームシーリング剤の使用を推奨いたします。（シームシーリング剤は付属しておりません。）また、シームシーリングの剥離、劣化による雨漏りが原因の場合もございますので、定期的にメンテナンスを行ってください。

Q

テント・タープを使用後、
保管方法はどのようにすればよいですか。

A

使用後は汚れを拭き取り、乾燥させて収納してください。
保管の際も高温多湿を避け、直射日光の当たらない
風通しのよい場所にしてください。

濡れたまま保管すると、カビ、腐食、劣化、防水／撥水機能の低下の原因となります。※汚れを拭き取る際、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤の使用はご遠慮ください。色落ちや変色などの原因となります。

Q

テント・タープの撥水性が弱まってきました。

A

市販の撥水スプレーを使用してください。
テントの撥水加工はご使用を重ねると徐々に機能が低下します。
※スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。

Q

部品の購入はどのようにすればよいですか。

A

通常使用による部品の消耗などにつきましては、
下記ページにて交換用部品を販売しております。

※ご要望の部品がない場合は、弊社サポートまでお問い合わせください。

【補修パーツページ】



https://store.dod.camp/c/item/repair_parts

Q

製品に不具合があります。

A

お客様より寄せられるご質問を、HPの「よくあるご質問」でご紹介しております。解決せず不良が疑われる場合にはwebページより弊社サポートまでご連絡ください。

※テント等の修理についてもHPよりご確認ください。

【FAQ】



<https://faq.be-s.co.jp/dod-faq/>

製品に関するよくある質問を掲載しております。

【お問い合わせフォーム】



<https://www.be-s.co.jp/contact>

TEL:050-5305-9905（平日10:00～13:00 / 14:00～17:00 土日祝日、盆休、年末年始休）

※サービス向上のため、お電話の内容は全て録音させていただいております。

※出来る限りWEBサイトお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

※お問い合わせの際は、製品名、製品型番、製造番号、ご購入店名、

ご購入年月日、ご住所、お名前、ご連絡先をお知らせください。

Q

保証書がありません。

A

本製品に保証書の付属はございません。

通常の使用状態にて製品に不具合や破損が見られた場合は、ご購入日また製品到着日より、1年間は無償で対応させていただきます。（ペグやロープなどの消耗品を除く）詳しい保証規定についてはこちらをご参照ください。

<https://www.dod.camp/support/warranty/>

Q

DOD製品の詳細について知りたいです。

A

製品ページでご案内しております。また、新製品やイベント情報、キャンプに関する情報などはSNSでもご案内しております。

【製品ページ】



DODキャンプ

検索

<https://www.dod.camp/>

【販売ページ】



DOD STORE

検索

<https://store.dod.camp/>

【情報配信ツール】

DOD camp+us（DOD公式アプリ「ディーオーディーキャンパス」）

DODを体感しながらみんなで創り上げるコミュニティアプリ。

<https://subscription.app.c-rayon.com/app/dodcampus/home>



X (Twitter)

@dod_camp

https://www.twitter.com/dod_camp/

Facebook

@doppelgangeroutdoor

<https://www.facebook.com/doppelgangeroutdoor>

Instagram

@dod.camp

<https://www.instagram.com/dod.camp/>

Tiktok

@dod_camp

https://www.tiktok.com/@dod_camp

Youtube

@dodcamp

<https://www.youtube.com/DODCAMP/>

DOD JOURNAL

最新情報や商品開発の裏話などを公開しています。

<https://www.dod.camp/journal/>

ビーズ株式会社
be-s Co., Ltd.

〒577-0063 大阪府東大阪市川俣1丁目14番33号

※当説明書内容の無断転用を禁止します

© 2025 be-s Co., Ltd.

